

2020年2月3日

あいおいニッセイ同和自動車研究所

裾野市に交通黄旗・横断旗を寄贈

令和元年、あいおいニッセイ同和損保グループが運営する、社会貢献活動「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」の制度により、弊社では、交通黄旗・横断旗を裾野市へ寄贈しました。交通黄旗・横断旗の寄贈は平成27年を初めに、本年度まで5回に亘り連続して寄贈となります。

裾野市は、幹線道路である国道246号バイパスが市内中央を抜け、他市内に抜ける県道・市道は共に沼津・三島から御殿場方面にかけて車両の行き来が非常に多く、歩行者においても特に子供と老人には、交通事故等に注意が必要な環境となっています。裾野警察署が2013年沼津分署として開署し、開署来現在に至って交通事故は減少傾向になってはいますが、学童・老人の事故防止対策には、交通量の多さにより苦慮されているようです。市内要所における交通量の多い箇所では、日々警察官・市民ボランティア・父兄等が動員され、交差点・横断歩道・通学路での交通整理が行われ、交通黄旗・横断旗が活躍していますが、交通事故防止に数年来使用されている既存の交通黄旗・横断旗は、毎日の使用と風雨等により損耗や破損が多く、常に不足しているのが現状であるため、地元の自治会やボランティアの父兄から、裾野市危機管理課に交通黄旗・横断旗追加の要請が寄せられていました。

今回も連続による黄旗・横断旗の寄贈となりましたが、不足している旗を少しでも補い、使用される地域が少しでも拡大される事で、地域の交通安全に貢献できればと祈っています。



・黄旗寄贈(高橋社長/裾野市長)



・黄旗と横断旗贈呈式